

重信川沿川における 水と緑のネットワークの確保

- ◆ 湿地環境の復活により、本川⇄泉という重信川沿川におけるネットワーク機能を再生し、魚類等の移動空間の拡大や渇水期における避難場所を確保します。



治水効果の確保

- ◆ 霞堤内の開発を抑制することにより治水効果を維持します。



泉や湿地環境に生息する 貴重種の保全

- ◆ 清涼な湧水により本川の水質改善が行われ、イシドジョウの生息空間が拡大します。(イシドジョウは、四国では愛媛、高知の6~7水系でしか確認されておらず、重信川流域の個体は形態的、遺伝的な独自性を持っています)
- ◆ 水路や水田に生息するメダカの生息空間が拡大します。(松山平野のメダカは、水路のコンクリート化や水田の乾田化により急速に個体数が減少しています)



メダカ
★全国、愛媛県、松山市レッドデータブック掲載種



スジシマドジョウ

愛媛県内では
松山平野のみ
見られる種

- ◆ 清涼な水質で砂礫、泥底に生息するイシガイの生息空間が拡大します。(イシガイは愛媛県内では松山平野南部のみに生息しています)



ヤリタナゴ
★愛媛県、松山市レッドデータブック掲載種



イシガイ
★愛媛県、松山市レッドデータブック掲載種

愛媛県内では
松山平野南部のみ
生息している種

- ◆ 広瀬霞の再生により、水質の改善、湧水の確保、底質の改善が行われ、マツカサガイ、ドブガイ等の二枚貝の生息空間が拡大します。(これらの二枚貝はヤリタナゴの産卵床となります)

里地や樹林環境に生息・生育する 貴重種の保全

- ◆ 水辺環境を代表するハグロトンボやオオカワトンボの生息空間が拡大します。



オオカワトンボ
★愛媛県、松山市
レッドデータブック掲載種

- ◆ 湿地環境に生息するタマシギ、ヨシゴイ等の生息空間が拡大します。
- ◆ 広瀬霞の再生により、湿地環境が再生され、テイレギ、ナガエミクリ等の水辺植生の生育空間が拡大します。



テイレギ



ナガエミクリ